

N. O. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

入学前から大学在学中に留学し、長期で海外生活しながら勉強したいと思っていました。1 回生の時から留学報告会に参加し、帰国した先輩方の話を聞いている中で協定留学であれば信用でき、比較的安心した環境で勉強できるのではないかと感じました。そして、何よりも先輩方に留学に行きたいなら絶対に行くべきと言われて、次は自分が行く番だと思いました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

TOEFL-ITP と TOEFL-iBT の勉強をしました。TOEFL 初級の授業や、学内での資格講座にも参加しながら、問題形式を知り、慣れていきました。自主学習では、単語帳を使って単語を覚え、TOEFL の問題集を買ってひたすら解きました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してから約半年くらい準備期間があったのですが、予防接種で約 2 か月半かかり、必要書類を随時記入しながら、I-20 が届くのを待っていました。ビザを申請するには I-20 が必要なのですが、実際ビザを申請したのは出発の 1 か月前ぐらいで、ビザが発行されるのにも時間がかかるので、すごく焦りました。高校の時の成績もいるという話を聞きましたが、私は持っていかなくてもビザを発行できました。英語の勉強はゼミで教科書を読んだり、ペーパーを書いたりしていたぐらいで、特に何もしていませんでした。

④ 現地到着後

空港に着くのに合わせて、現地の学校の先生が迎えに来てくれました。空港から学校までは、約 40 分でした。到着した次の日から 5 日間くらいがオリエンテーションで、学校内を現地の学生と散策したり、寮生活で必要なものを買って揃えました。また、レクリエーションに参加したりと秋から 1 回生の学生とも楽しんで過ごせました。オリエンテーション期間中に、秋学期に履修したい科目を個人面談で決定しました。予備登録していても、登録時に開講されなかったり、人数制限がある科目もあるので、アドバイザーの先生は私の取りたい科目について担当の先生にメールをしてくれたり丁寧に対応してくださいました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

語学研修は行わず、大学で 2 セメスター過ごしました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

図書館が夜中の 12 時まで空いているので、授業が終わり、食事をした後はほとんど図書館

で過ごしました。パソコンがある自習室は24時間空いているので次の日のプレゼンの準備やテスト前によく使っていました。体育館にはジムがあり、時々友達と走りに行き、運動する機会を作りました。この体育館は授業でも利用していました。

◆ **履修科目**

• **ENG103**

この授業は留学生のみが受講する科目の一つで、フリーライティングやパラグラフについてなど、他の授業で活用できるアカデミックライティングを学びました。

• **INT130**

フィールドワークに何度も出かけ、MBC周辺の町の歴史などを学びました。引用のまとめ方やペーパーの書き方も学びました。

• **COMM 100**

留学生と現地の学生と一緒に授業を受けながら、プレゼンテーションの効果的な方法を学びました。実際に授業の中で数回プレゼンテーションを行いました。ペーパーのテストもあり、プレゼンテーションについての知識も実践力もついたと思います。

• **WS100**

毎回講義とディスカッションを組み合わせた授業を受けました。テーマは女性に関するさまざまなことで幅広く、情報量が多く課題は大変でしたが、授業では毎回興味深い内容が話し合われました。

• **COMM 115**

講義とディスカッション、小テストやプレゼンテーションをする2パターンのクラスがあり、いろいろな側面からマスコミについて学ぶことができました。

• **BUAD250**

女性の働く環境やその周りの人々との関係について教科書を使って学びました。さらに女性の労働環境についてケーススタディをしたり、ゲストスピーカーの話を聞いたりもしました。インタビューをしてレポートにまとめたり、自己分析をすることで、アメリカでの働く女性像について学びました。

• **COMM280**

留学生やそれぞれ異なるバックグラウンドを持った学生が、それぞれの文化を紹介しながら文化の違いについてディスカッションし、異文化コミュニケーションについて学びました。

• **MUS106**

教会やコンサートでの演奏に向けて曲を練習し仕上げました。学期末には、受講しているメンバーで移動して学外で演奏する機会もあり、練習した成果をたくさんの人に聞いてもらえました。

・ PHE139A

体をしっかり伸ばしながら、さまざまなメニューをしました。筋力トレーニングを行なうピラティスを週 1 回、授業で行うことで、心身ともに調子が良くなりました。

・ POLS111

さまざまな政治について比較対象を提示しながら、それぞれに当てはまる国についても理解を深めることができました。グループプロジェクトでは、憲法を考えるという興味深い経験もできました。

・ PSYC111

生活している中での身近な現象や状態について、心理学的側面から考えることが出来ました。毎回の小テストと 3 回のテストは多く感じましたが、内容も多いのでしっかりと勉強すると結果にもつながります。

・ JPNS380 A01

現地の学生が受講する中級日本語のアシスタントをしました。主に教科書の基本的な文法項目を使って、会話演習を担当しました。宿題の添削をする中で表現の間違いを指摘したり、相談に答えることで、英語で日本語について伝えることの難しさを実感しました。

◆ 授業、レポート、定期試験

授業は 50 分や 75 分と日本よりも短かったですが、週に 2 回または 3 回ありました。レポートは課題として出されたり、学期末の定期考査として出されました。定期試験は履修している科目を試験期間の間に学生自身がいつ受けるのかを決めることが出来ました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

留学生が所属していたインターナショナルクラブに参加しました。イベントの時に、日本人で料理したり、現地の学生と一緒にゲームをして楽しみました。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

寮はオリエンテーションの時に部屋とルームメイトが教えられました。過去に留学した人は年中薄着で過ごしていたと言っていましたが、部屋が 1 階で日当たりがよくなかったので、部屋に暖房がついているにも関わらず、肌寒い日が多く帰国直前まで厚着をしていました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

寮が閉まるので、西海岸のラスベガス、カリフォルニアディズニーランド、アンテロープキャニオンに行き、サクラメントではホームステイをしました。両親が年末、ニューヨークに来るということで、家族で 1 週間観光をして楽しみました。その後、初めて 6 日間ボストンで一人旅をしてから、同時期に留学していた友達とシカゴで過ごしました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

3 月半ばからパソコンでプレエントリーをしていました。スーツを一応持って行っていたの

で、写真を撮ってアップロードし、エントリーも数社しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

授業の課題が多かったので、息抜きに友達と話したり、出かけている時間が楽しかったです。特にメイタームに友人の地元に行ったり、家族に会えたことは印象的です。そして、フレンドシップファミリーとたくさんの時間を過ごせたことは、感謝しています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学当初、授業についていくのが大変で、履修途中で単位取得が危ない科目もありました。しかし、先生やチューターの助けを借りて、テストも提出物も出しきって、無事に単位を取得して帰ることが出来ました。そして、ルームメイトとの生活習慣のずれがひどく、毎日しんどい時期がありました。結局、分かれて住むことになりましたが、そこで共同生活の大変さとコミュニケーションの大切さを感じました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

くしゃみをするたび、周りの人が授業中であっても、“Bless you”と言います。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

アメリカの中でも規模の小さな学校だったので、学生数も少なく、同じ授業を偶然取っていて仲良くなったりもでき、先生にも質問しやすい環境でした。留学生は日本人と韓国人しかいなかったの、アメリカ人の友人が多く、他の国の学生と出会う機会はあまりなかったです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコン（USBを持っていくと学内でのパソコンとの連携が簡単だと思います）薬、生理用品、スリッパ（寮内や部屋の中で過ごす時のため）、電子辞書

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

以前よりかなり聞き取れるようになりましたし、何事に対してもより積極的に取り組むようになりました。留学前は考えてから行動することが多かったですが、まずはとにかくやってみようと思えるようになりました。そのおかげで友達からの誘いやイベントなどにたくさん参加できました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学出来たからこそ出会えた人たちがいたり、経験できたことがたくさんあります。留学先の国や学校だけでなく、日本のことや自身についても多くの発見や気づきもあるはずです。今、留学してみたいなと思っている人や留学生活ってどんな感じなのかなと興味があ

る人はぜひ前向きにチャレンジしてほしいです！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

就職活動をしていく中で、この留学経験を活かしていきたいと思います。そして、英語を使って学ぶ経験が出来たので、英語の勉強をし続けて、もっとスキルアップして生活の中で身近に使えるようにしたいです。

V. 写真



私がお世話になった大好きなフレンドシップファミリーです。たくさんのイベントに誘ってもらい、帰国直前には誕生日パーティーをしてもらいました。



日本語の授業では、たくさん話す時間を作り、日本に興味を持つ学生たちにとって、楽しい授業にしようと毎回内容を考えていました。

M. A. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

大学には留学を経験するチャンスがたくさんありますが、最初はあまり興味がありませんでした。しかし、私が実際留学に行くことになる前の年に、周りの友人たちがたくさん海外留学を経験します。彼女たちのわくわくしている姿や、実際の留学中の話を聞いているうちに、私も異国で勉強することに興味が出てきました。また、自分に自信が持てず、何となく大学生活を送っていた自分を変えたい、新しいことにチャレンジしたい、と思ったことも留学を目指すきっかけとなりました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

パソコンのタイピングが苦手だったので、インターネットベースの TOEFL ではなく、全て筆記で実施する IELTS を受験することにしました。あまり馴染みのなかった IELTS でしたが、先に形式やコツを学んでおくのは大切だと思い、参考書を 1 冊買って学習していました。1 回目の試験は初めての緊張や不安などで望むスコアがとれませんでした。2 回目は比較的リラックスして自信を持って受験でき、無事出願条件のスコアに到達しました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

予防接種や健康診断、ビザの申請など、やらなければならないことがたくさんあります。何事も早め早めを心掛けて準備することをお勧めします。ビザの申請に関して業者をお願いする手もありますが、自分の力で十分できたので、少し時間は取られますが自分で挑戦してみてください。また、留学先についたらすぐ現地の学生と肩を並べて授業を受けることとなりますので、自分ができる限りの英語学習、履修しようと思っている分野の予習ができていますと理想的だと思います。出発前はそこまでする余裕がないのも現実ですが。

④ 現地到着後（空港からの移動手段・時間、オリエンテーション、諸手続きなど）

学校の最寄りの空港にアドバイザーの先生が迎えに来てくれるので、事前に到着日時と飛行機の便などをメールで伝えておきます。学校に着いてからしばらくは、オリエンテーションや科目登録などで慌ただしい生活を送ることになります。アドバイザーの先生を始め、現地の生徒も喜んでサポートしてくれるので心配はいりませんが、時差ボケや慣れない環境で体を壊さないよう体調管理に気を付けてください。

⑤ 語学研修期間

語学研修は行っておりません。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

MBC は田舎でのどかな所です。遊びに行けるようなところやショッピング施設などもあまりありませんし、日常生活で出掛けるといえばスーパーに買い物に行くくらいのものでした。しかし、山登りに挑戦したり、野生の動物(リス、野ウサギ、鹿、蛍など)を発見したりと、田舎ならではの経験ができることもあります。

◆ 履修科目

・ Plays In Performance

舞台やお芝居の基礎を学び、たくさんの作品に触れながら舞台上の様々な事をディスカッションします。実際に演劇を毎週観に行き、毎週のレポート、3 回の大きなレポートがあり、ライティングの力がつきました。ほとんどが学生間のディスカッション形式の授業だった上に、初めて取った授業だったので、毎回不安いっぱい出席していました。最後に 3 人グループでオリジナルの演劇を発表します。自分の興味のある分野だったのでやりがいはありましたが、一番苦勞した授業でした。

・ Public Speaking

多くの留学生が履修していた科目です。プレゼンテーションでの話し方や表現方法、パワーポイントの使い方などを学び、実際に何度か自分で考えたプレゼンテーションを発表します。英語を話す良い練習になりました。

◆ 授業、レポート、定期試験

授業では毎回分からないことが大量に出てきます。先生が話している英語が早くて聞き取れないこともたくさんあります。授業や教科書の内容を完全に理解することは難しいですが、分からないことを分からないままにせず、自分なりにいろいろな方法で少しずつ解釈していくことが大切だと思います。それが期末テストの勉強にも繋がってきます。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

⑧ 現地での住まい（正規科目履修期間）について

寮とルームメイトは事前に決まっていました。シャワーが冷たい水しか出なかったり、トイレが洪水したりという事件が何度かありました。食事内容には苦勞したので、スーツケースに入る限り日本の食べ物を持っていくことをお勧めします。学校のご飯はあまり美味しいと感じませんでした。寮は学校のキャンパス内にあるので移動は大変便利です。

⑨ 長期休暇の過ごし方

ロサンゼルス、ラスベガス、サクラメント、ニューヨークなどに旅行に行きました。学校の中では経験できないさまざまなことに刺激を受け、いろいろなことを学びました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

行っていません。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

私は舞台の仕事にすごく興味があったので、演劇のクラス、歌、ダンス、ピアノ、音楽など、舞台に関係するさまざまな授業を履修しました。大変なこともありましたが、今となつてはどの授業も自分にとっていい経験だったと思うし、自分の好きなことを通して自分を思い切り表現することがどれだけ幸せなことかを実感しました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

食事です。美味しくないと食べなければ生きていけない。難儀しました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

部屋の片づけができない人がたくさんいたように感じます。私も片づけが得意な方ではないですが、何度かアメリカ人の友達のゴミ屋敷を見てびっくりしました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：

自然がたくさんあるところ。自分のしたいことをできる時間がたくさんあるところ。アドバイザーの先生が本当に親身になってくれるところ。

悪かった点：

食事内容。履修科目の少なさ。ルームメイトとの寮生活。うるさいこともあったし、シャワールームやトイレの使い方がひどい人が多いです…。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

日本の食べ物。日用品は向こうで何でも買えるのであまりたくさんものを持っていく必要はないと思います。パソコンは持って行き、毎日持ち運んで使っていました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

言語に関しては、言いたいことがスムーズに伝わるようになってきたと思います。授業の中でも、最初は全然聞き取れなかった教授の話が、少しずつ聞き取れるようになってきたのを実感しました。また、異国の地でたくさんの人と関わって、こういう人もいるんだ、こういう考え方もあるんだ、と毎日が新しい発見の連続でした。行く前と比べると、人や物事を見る視野が大分広がったと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

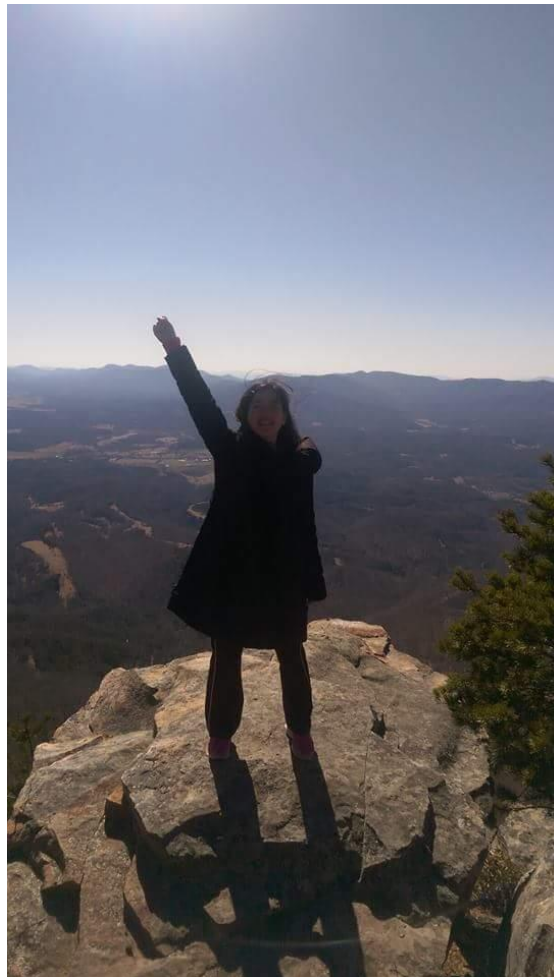
いろいろなハプニングが起こり、決して楽しいことばかりではない(と思う)留學生活ですが、日本では経験できないたくさんの方にチャレンジできます。そこで見つけた新しい自分の可能性が、これからの皆さんの人生を大きく変えていくかもしれません。初めに少しの勇気はあるけれど、留学という大きな冒険に出てみたいと思う皆さんは素敵だと思うし、私は心から応援します。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

歌うこと、踊ること、演じることが大好きで、将来は舞台俳優となって舞台上で自分を思いっきり表現することが私の望みです。その目標に向かって全力で毎日を生きています。周りのみんなが一生懸命就職活動をしているのと同じですが、自分がこうなりたいと思う方向へ、誇りを持って全力で進んでいけることは本当に幸せなことだと思います。これからも、そこへ向かう覚悟と責任そして誇りを持って、堂々と将来の理想を追求していきたいです。

V. 写真



初めての登山。初めての割になかなかレベルの高い山に登りました。最初はあまりにも辛くて、心の中で二度と登山なんてするものかと思い、いじけながら登っていましたが、頂上に着くなりすべての苦労を忘れてこの笑顔です。やみつきになっちゃいそう。

R. S. 社会システム学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

以前セメスター語学留学で語学学校に行っていましたが、英語を学ぶのではなく英語で何かを学びたい、語学学校で学んだ英語を実践したいと思い、協定留学をめざしました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

私は IELTS を受けることにしたので IELTS の教材を 1 冊購入し、学校にある英語自習室にも通いました。国際交流センターで毎週木曜日イギリス人の先生に小論文の添削をしてもらっていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

7 か月（1 月から 8 月）

④ 現地到着後

協定先大学の先生に事前に来てほしいと言うと、空港まで迎えに来てくれました。シャーロットビル空港から MBC までは車で 40 分程度でした。MBC に着くとまず寮の部屋に案内され、荷物を置いて、すぐにオリエンテーションでした。留学生一人一人に付いてくれるアンバサダーの学生たちが、それぞれキャンパス内を案内してくれました。学生証の写真もすぐ撮られました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

日本に住んでいたことがあり、以前から色々な学校で ESL を教えていたという先生が優しく教えてくれました。

◆ 授業内容、課題、試験

アメリカの大学の厳しいレポートの書き方のフォームなどを教えてくれました。課題はほぼ毎回ありますが難しくはないです。試験も授業中にエッセイの小テストがあるだけで中間や期末テストはありません。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

キャンパス内は坂や階段が多く、教室や体育館の移動だけでいい運動になります。景色はとてもきれいです。

◆ 履修科目

留学出発前に教科が書いてある web ページを教えてもらい、そこから選びましたが、正直よくわからなかったのとあわせて 1 週目は気になる授業に出席して詳しいシラバスを貰い、先生や授業内容を見て、そこから考えました。

（秋学期）

• **Public Speaking**

日本人の留学生は全員履修しました。プレゼンをたくさんする授業です。

• **English As A Second Language**

• **Introduction To American Culture**

• **Introduction To College**

この3つは留学生全員が履修しました。単語や文法を軽く勉強し、アメリカの大学はレポートのフォーマットなどが厳しいので、レポートの書き方なども教えてもらいました。またアメリカの植民地時代やサンクスギビングの文化なども教えて頂きました。

• **Introduction To Social Work**

アメリカの社会福祉制度について学びました。予習で教科書をたくさん読みました。リサーチペーパーもあり、テストも中間期末としっかりありました。

• **Applied Piano**

1対1の個人レッスンで、週1回30分ピアノを習います。レッスン料は\$250かかります。Tonya Menard先生はとてもいい先生でした。おすすめです。

• **Beginning Yoga**

ヨガの経験がなくてもほぼ全員無いので大丈夫です。難しい授業の合間にリラックスできてとても良かったです。学期の最初と最後にレポートがありました。難しくはなかったです。

• **Tennis**

学校のテニスコートで週に2回ありました。学期末にテニスのルール等の確認テストがあります。これも初心者ばかりなので気軽に受講できました。

• **Horseback Riding**

乗馬の授業です。週1回、違う生徒の車でキャンパス外の牧場に行き乗馬を習います。学期末に小さな実技テストとクイズがあります。ブーツ等を買わないといけません。（私はウォルマートで長靴を買いました。）授業料は\$250必要です。とてもいい経験になりました。

（春学期）

• **Principles of International And Macroeconomics**

私はDr. Pietrowskiの授業でした。この授業では毎週月曜日に提出の宿題を出されました。テストは期末を合わせて5回ほどありました。

• **Psychology As A Social Science**

この授業では週に約1回授業前に抜き打ちテストがあります。中間期末テストがあり、自分が興味を持った事等のレポートが4回ほどあります。

・ **Primary Applied Piano**

秋学期に受講していた授業が 1 時間に増えた授業です。レッスン料は \$ 380 ほどです。

・ **Drawing I**

鉛筆やチョーク、インク等色んな物をつかって絵の描き方を教わる授業です。初心者でも大丈夫でした。テストはありません。授業料は \$ 170 ほどです。

・ **Fundamentals Of Music**

音符の読み方など、音楽のとても基本的な事を学ぶ授業です。小テストが何度かあり、期末テストに筆記と実技で軽くピアノを弾き、音符のリズムを先生に個人的に見てもらいました。

・ **Mary Baldwin College Choir**

テストや課題は一切ありません。春学期に受講すると無料で 2 泊 3 日の Choir trip に行く事ができました。老人ホームや教会で歌いました。自由時間もあり買い物もできました。

・ **Pilates**

学期の最初と最後に小さなレポートがあります。テストはありません。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

入っていません。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

キャンパス内にある寮でした。ルームメイトと二人部屋です。トイレとお風呂は共同です。寮には共同のキッチンがありますが、お皿やフライパンなどは無いので持参するか買わないといけません。食事は 3 食食堂で頂けます。

⑨ **長期休暇の過ごし方**

現地の友達の実家に泊まらせてもらったり、日本に一時帰国をしたり、留学生でニューヨークに行ったりしました。

⑩ **留学期間中の就職活動の取り組み**

プレエントリーをして、ウェブセミナーなどをチェックしていました。セミナーや説明会に行けなかった企業が多かったです。

II. 留学の感想

① **留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること**

ピアノや乗馬等、日本で経験のないことにチャレンジ出来た事です。

② **留学中でつらかったこと、最も苦労したこと**

課題やテストです。

③ **文化・習慣の違いなどで驚いたこと**

シャワールームやトイレが汚かったり、トイレのドアの隙間が大きすぎて見えてしまうこ

とです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

キャンパス周辺にあまり遊ぶところがないのでお金はあまり使わず勉強に集中できるという面では良いところであり、楽しみが少ないという面では悪い点だと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコン持参。日本の調味料。日本食。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学学校と違い、専門用語に触れる機会が多いので、自然と TOEIC 等のスコアは上がると思いました。アメリカ現地の良い面も悪い面も、授業で歴史や文化を学ぶことを通して知ることができました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私は就職活動が遅れましたが、業界関係なくこの留学が大きな強みとなり、就職したいところに内定を頂く事ができました。頑張ってください。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

Principles of International And Macroeconomics の授業をきっかけに興味を持った金融機関で国際的にも活躍していきたいと思っています。